

## 平成27年度 第3回がまごおり協働まちづくり会議要旨

日 時 平成27年10月16日(火)  
午後2時～午後4時30分  
場 所 蒲郡市役所新館5階庁議室

### 1 挨拶

- 和泉会長挨拶

### 2 議題

#### (1) 協働モデル事業について

- 各委員から資料に基づき事業提案

- ・鈴木委員の「若者の就労支援」と小林委員の「まちづくり・まちおこし団体等の連携」について共同提案
- ・石川委員の「居場所づくり」と天野委員の「地域コミュニティの形成」について共同提案

- 結論

- ・今年度の協働モデル事業は、石川委員と天野委員の「居場所づくり」&「地域コミュニティの形成」に決定。契約内容等詳細については今後両委員と協議のうえ決定する。
- ・鈴木委員の「若者の就労支援」と小林委員の「まちづくり・まちおこし団体等の連携」については、2つのテーマを一緒に取り組むことが難しいため今回のモデル事業としては実施しないが、鈴木委員の「若者の就労支援」について、いずれモデル事業として取り組めないか引き続き検討を図る。

- 委員意見等

(「若者の就労支援」&「まちづくり・まちおこし団体等の連携」について)

- ・若者サポートステーションの事業は、「相談」「ネットワーク構築」「定着ステップアップ事業」は厚生労働省の委託事業であり、利用者の「ステップアップセミナー」は市の委託事業である。
- ・モデル事業としての取り組み案は、①地元企業の実態調査(ニーズ調査)、②企業との関わりを増やす、③コーディネータの育成。
- ・各業界のピーク時カレンダーやイベントカレンダーができれば、若者サポートステーションの利用者にも受け入れ側にもメリットが出るのでは。
- ・若者サポートステーション、ハローワーク、商工会議所等関係機関の取り組みについて整理し、モデル事業として社会参加プログラムをどうつくるか検討できるとよい。
- ・現時点では、落としどころが見えていないためモデル事業として取り組むことは難しいかもしれないが、いずれモデル事業として取り組むべき課題だと思う。モデル事業として取り組む前のステップとして引き続き取り組めるとよいと思う。
- ・11月開催の「うどんサミット」の飲食コーナーは、若者サポートステーションに全てお任せする予定。

- ・「まちづくり・まちおこし団体等の連携」の最終目標は、ボランティアの人材バンクができることで、まちづくりセンターの取り組みとも関わることである。参考情報として、岡崎の「まちびとバンク」では、数年間で100人登録があり、イベント実施時には約半数の方が参加される。

(「居場所づくり」&「地域コミュニティの形成」について)

- ・モデル事業として取り組むのは、先進事例の視察や居場所に人を誘う仕組みづくり。先々を見据えて今何ができるかを検討しなければならない。モデルとして他地区や団体がまねしたくなるプランを実施することが大事。
- ・「居場所づくり」(石川委員)は、老人クラブが担い手となり地区の集会場や公民館、さらにはお寺を実施場所として取り組むことを検討している。
- ・「地域コミュニティの形成」(天野委員)は、地域が担い手となり、現在包括支援センターのサービスを受けている活動の自主運営に取り組むことを検討している。また、児童公園の花壇を活用して花苗に取り組み、それを地域住民に配布する活動も組み合わせることを検討している。玄関に花があれば空き巣にも入られにくい。

## (2) 市民企画公募まちづくり事業助成金について

### ア 平成28年度助成金一部改正について

#### ○ 事務局から資料4に基づき説明

- ・がまごおり市民まちづくりセンターより助成金利用団体からのヒアリングを基に改正点について提案。

#### ○ 結論(改正点)

- ・ほとぼしる情熱支援部門申請書(2)事業効果〔公益性〕~~※この事業を行うことで、どのような効果が期待できますか。~~ ⇒ この事業を行うことで、まちづくりに対してどのような効果が期待できますか。
- ・参考例に「蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金審査について」を付ける。
- ・「蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金審査について」の中に「各審査項目は、申請書の項目と一緒にではありません。審査は、申請内容全体に対して審査項目により審査します」と明記する。
- ・収支計画書をエクセルデータで作成。
- ・収支計画書「助成対象経費」を決算書と合わせた項目ごとに分類したものを用意する。申請者は、現在の様式と新しい様式の2パターンで好きな方を選択できるようにする。合わせて新しい様式の参考例を用意する。
- ・募集要項の対象経費を「蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金交付要綱」の助成対象経費項目と同じ内容にする。
- ・募集要項に「1品3万円を超える備品の購入は認められません」を加える。

### イ 平成29年度助成金抜本改正について

#### ○ 事務局から資料5について説明

#### ○ 結論

- ・時間の都合上、協議は次回会議に持ち越し。

(3) その他

- まちづくり賞について事務局より説明。
- NPO法人楽笑「平成26年度「農」のある暮らしづくり交付金実施評価結果について」事務局より報告。
- がまごおり協働まちづくり基金への寄付について事務局より報告。
- 次回会議は、12月10日(木)、17日(木)、18日(金)を候補に調整する。

欠席者 山本委員、委員数11人中出席委員10人(会議成立)